

平成 27 年度教育学習支援検討特別委員会活動報告

I. 会議等の開催状況

(第 1 回)

日 時：平成 27 年 8 月 6 日 (木) 14:30～17:05

場 所：東京大学共同利用棟 (総合図書館事務部) 3 階会議室 1

議 題：

- ・今年度の体制、事業計画について
- ・「ラーニング・コモンズ (LC) の在り方」の活用促進について
- ・「高等教育のための情報リテラシー基準」の活用促進について

II. 活動計画と体制

本委員会は、これまでの調査研究成果の活用を促進するため、設置期間を第 63 回総会まで延長して下記の活動計画により活動することになった。実施体制としては、実践事例普遍化小委員会と情報リテラシー教育検討小委員会を継続したが、実際には作業の重複をなくすため主に合同で活動した。

<活動計画>

1. 大学図書館における教育学習支援機能充実のための諸方策についての調査研究と、その成果の活用を促進する活動を行う。
2. 新たな活動計画／重点事項
 - ①『ラーニング・コモンズの在り方に関する提言』に示した、「ラーニング・コモンズの在り方 (共通理解のために)」「同チェックリスト」を周知する活動。
 - ②『高等教育のための情報リテラシー基準』を実践に結びつけるための具体的方策の実施。
 - ③その他、本特別委員会の成果を引き続き活用するための方策の検討。

III. 活動内容について

1. 教育学習支援検討特別委員会 facebook ページの開設

平成 28 年 1 月に、委員会の活動報告や委員が選んだ教育学習支援機能の充実に関する情報を提供するため、facebook ページ (<https://www.facebook.com/janulsftl/>) を開設した。

週 1 本程度の記事を掲載し、多い記事では 800 人以上の facebook ユーザーがその記事を読んだと思われる。facebook ユーザー以外についても閲覧可能なため、国立大学図書館協会のホームページからのリンクや、検索エンジンからの来訪者があった。

2. 平成 27 年度国立大学図書館協会シンポジウムの実施

「ラーニング・コモンズ、日本とアメリカでどう違う？ ―ラーニング・コモンズの役割を再定義する―」

会場： 東京大学伊藤国際学術センター・伊藤謝恩ホール

日時： 平成 28 年 1 月 29 日（金）

参加： 166 名（96 大学・機関）

内容：

大学図書館の学修支援サービスの今後について、本委員会の成果を踏まえつつ共に考えることを目的として、日米のラーニング・コモンズの比較の視点から、中央フロリダ大学図書館研究情報サービス部長のバーバラ・ティアニー氏と、小山憲司日本大学教授（実践事例普遍化小委員会アドバイザー）の講演を行った。加えて、同志社大学と東京大学からの事例報告を受けた。

また本委員会からの、教育学習支援に関わるコミュニティ作りの提案も行った（IV-4 参照）。

- ・講演 1) バーバラ・ティアニー「北米におけるラーニング・コモンズのサービスモデル」
- ・講演 2) 小山憲司「日本のラーニング・コモンズの特色と今後の方向性」
- ・事例報告 1) 岡部晋典「同志社大学良心館ラーニング・コモンズの実践」
- ・事例報告 2) 鈴木祐介「Creative Bazaar ー学びと研究をつなぐ価値創造の広場ー」

3. 記事執筆

- ①『図書館雑誌』109(12), 771-773, 2015-12

「国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会の活動：3 年間を振り返って」

- ②文部科学省『大学図書館における先進的な取り組みの実践例（Web 版）』（平成 28 年 2 月 12 日）

http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm

「『高等教育のための情報リテラシー基準 2015 年版』を策定 大学生の情報活用能力の向上のために」

IV. 成果普及のための諸活動（委員、アドバイザー）

1. 全国図書館大会第 2 分科会「大学図書館／利用教育」の実施

「学習支援の次なる Step ーラーニング・コモンズと情報リテラシーのおいしい関係」

日時： 平成 27 年 10 月 16 日（金）9:00～12:00

場所： 国立オリンピック記念 青少年総合センター

参加： 158 名

内容：

多くの図書館関係者が集まる場で、委員とアドバイザーが中心となり、特別委員会の成果説明と活用法を紹介する分科会が開催された。平成 28 年 3 月には分科会のまとめを載せた『全国図書館大会記録』が刊行された。また事例報告の発表資料は、それぞれの大学の学術機関リポジトリで公開された。

- ・概要説明 岡部幸祐「イントロダクション」
- ・講演 1) 野末俊比古「学修支援と情報リテラシー：新しい学びの基盤づくりに向けて」

- ・講演 2) 小山憲司「ラーニング・コモンズ 2.0：実質化に向けた次のステップ」
- ・講演 3) 内島秀樹『『ラーニング・コモンズの在り方に関する提言 実践事例普遍化小委員会報告』の読み方』
- ・事例報告 1) 餌取直子「お茶の水女子大学附属図書館における『高等教育のための情報リテラシー基準』の活用事例」(<http://hdl.handle.net/10083/58226>)
- ・事例報告 2) 村尾真由子「筑波大学附属図書館における『高等教育のための情報リテラシー基準』活用事例報告」(<http://hdl.handle.net/2241/00136317>)

2. 静岡県大学図書館協議会平成 27 年度講演会・実務研修会

日時：平成 27 年 12 月 11 日（金）

場所：静岡大学附属図書館

参加：37 名

内容：

「大学図書館における学習支援・研究支援」と題したプログラムの中で、『高等教育のための情報リテラシー基準 2015 年版』の解説と、各大学で講習会に活かしていくためのワークショップを委員が講師となって実施した。

- ・岡部幸祐「学習支援と情報リテラシー」（講演・グループワーク）

3. 「カレントアウェアネス-E」No.289（2015.10.01）への記事執筆

- ①E1712『高等教育のための情報リテラシー基準 2015 年版』活用法 / 岡部幸祐

<http://current.ndl.go.jp/e1712>

- ②E1713『ラーニング・コモンズの在り方に関する提言』 / 内島秀樹

<http://current.ndl.go.jp/e1713>

4. 図書館学習支援コミュニティ形成の取組み（facebook グループ「とがし」）

委員やアドバイザーが中心となって発起人となり、「自ら学び、図書館ユーザーの学びを支援する、図書館における「学び」に関わる人のためのコミュニティ」形成に向けた facebook グループが設置された（平成 28 年 2 月）。本委員会では、シンポジウムでの参加呼びかけや委員会の公式 facebook ページでの紹介により、立ち上げの支援を行った。

現在、facebook グループには、情報リテラシーや学習科学の研究者を含む 40 名以上が加わって情報交換が行われている。

V. 委員構成

1. 教育学習支援検討特別委員会

（平成 28 年 3 月 31 日まで）

委員長：	森 仁志	名古屋大学附属図書館長
委員：	佐藤 初美	筑波大学附属図書館情報サービス課長
	杉田 茂樹	千葉大学附属図書館利用支援企画課長

	岡部 幸祐	東京大学附属図書館情報サービス課長
	森 いづみ	お茶の水女子大学附属図書館図書・情報課長
	長谷川順子	茨城大学図書館学術情報課長
	橋 洋平	金沢大学附属図書館情報サービス課長
	鈴木 雅子	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
	磯谷 峰夫	大阪大学附属図書館利用支援課長
	内島 秀樹	神戸大学附属図書館事務部長
	渡邊由紀子	九州大学附属図書館利用支援課長
事務:	次良丸 章	名古屋大学附属図書館情報サービス課長
	伊原 尚子	名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐

(平成28年4月1日から)

委員長:	森 仁志	名古屋大学附属図書館長
委員:	岡部 幸祐	筑波大学学術情報部情報企画課長
	佐藤 初美	筑波大学学術情報部アカデミックサポート課長
	杉田 茂樹	東京大学附属図書館情報サービス課長
	森 いづみ	お茶の水女子大学附属図書館図書・情報課長
	長谷川順子	茨城大学図書館学術情報課長
	内島 秀樹	富山大学附属図書館学術情報部長
	橋 洋平	金沢大学附属図書館情報サービス課長
	鈴木 雅子	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
	磯谷 峰夫	神戸大学附属図書館情報サービス課長
	渡邊由紀子	九州大学附属図書館利用支援課長
事務:	高野 恵子	名古屋大学附属図書館情報サービス課長
	伊原 尚子	名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐

2. 実践事例普遍化小委員会

(平成28年3月31日まで)

委員長:	内島 秀樹	神戸大学附属図書館事務部長
委員:	佐藤 初美	筑波大学附属図書館情報サービス課長
	杉田 茂樹	千葉大学附属図書館利用支援企画課長
	長谷川順子	茨城大学図書館学術情報課長
	橋 洋平	金沢大学附属図書館情報サービス課長
	磯谷 峰夫	大阪大学附属図書館利用支援課長
	渡邊由紀子	九州大学附属図書館利用支援課長
アドバイザー	小山 憲司	日本大学文理学部教授

(平成28年4月1日から)

委員長:	内島 秀樹	富山大学附属図書館学術情報部長
委員:	佐藤 初美	筑波大学学術情報部アカデミックサポート課長
	杉田 茂樹	東京大学附属図書館情報サービス課長
	長谷川順子	茨城大学図書館学術情報課長
	橋 洋平	金沢大学附属図書館情報サービス課長
	磯谷 峰夫	神戸大学附属図書館情報サービス課長
	渡邊由紀子	九州大学附属図書館利用支援課長
アドバイザー	小山 憲司	中央大学文学部教授

3. 情報リテラシー教育検討小委員会

(平成28年3月31日まで)

委員長:	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
委員:	岡部 幸祐	東京大学附属図書館情報サービス課長
	森 いづみ	お茶の水女子大学附属図書館図書・情報課長
	鈴木 雅子	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	野中 雄司	北海道大学附属図書館利用支援課係長(学習支援企画担当)
	村尾真由子	筑波大学附属図書館情報サービス課
	寺升 夕希	滋賀医科大学図書館
	馬場真紀子	東京海洋大学学術情報課情報サービス第一係長
アドバイザー	野末俊比古	青山学院大学教育人間学部准教授

(平成28年4月1日から)

委員長:	大西 直樹	名古屋大学附属図書館事務部長
委員:	岡部 幸祐	筑波大学学術情報部情報企画課長
	森 いづみ	お茶の水女子大学附属図書館図書・情報課長
	鈴木 雅子	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	野中 雄司	北海道大学附属図書館利用支援課係長(学習支援企画担当)
	村尾真由子	筑波大学学術情報部アカデミックサポート課
	寺升 夕希	滋賀医科大学図書館
	馬場真紀子	東京海洋大学学術情報課情報サービス第一係長
アドバイザー	野末俊比古	青山学院大学教育人間学部准教授